

高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種について

～接種前に必ずお読みください～

説明書

予防接種を受ける前に、この説明書をよく読み、予防接種の必要性や副反応について理解してください。

新型コロナウイルスとは

感染者のおもに咳やくしゃみ、会話のときにでるウイルスを含む飛沫や細かい粒子を吸いこんだり、ウイルスが付いた物を触った手で自身の目や鼻、口などの粘膜を触ることで感染します。

新型コロナウイルスワクチンの有効性

新型コロナウイルスの予防接種は、例外的な場合を除き、特に高齢者や基礎疾患などがある成人の方において、コロナウイルス感染による重症化や死亡のリスクを減らす効果があるといわれています。

予防効果が期待できるのは、接種した日からおよそ2週間以降と考えられています。

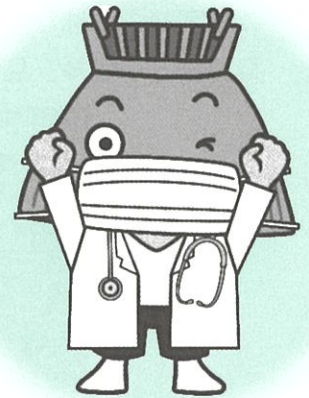
予防接種を受ける前に

予防接種について、気になることや分からないことがあれば、接種を受ける前に医師や看護師、静岡市の担当課に質問しましょう。

十分に納得できない場合には、接種を受けないで下さい。

接種に慎重を要する人もいますので、事前に予診を十分受けてください。

また、予診票は医師が接種の可否を決めるための大切な情報です。接種を受ける方が責任をもって記入し、正しい情報を医師に伝えてください。



予防接種を受けることができない方

- ①明らかに発熱（37.5℃以上）がある方
- ②重い急性疾患にかかっている方（急性疾患の種類や症状は、医師が判断します）
- ③ワクチンの成分で激しいアレルギー症状を起こした事がある方
- ④その他、医師が不適切な状態と判断した方

予防接種を受ける前に担当医師とよく相談しなくてはならない方

- ①過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ②心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ③過去の予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- ④過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑤ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方

予防接種を受けたあとは

予防接種を受けた後30分は、急な副反応（本来、意図しない反応）が起こることがあります。医師とすぐ連絡を取れるようにして下さい。また、副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間の体調の変化に注意して下さい。

接種後当日の注意点

- ▶ 激しい運動や、体に負担がかかる重労働は控えてください。
- ▶ 接種直後の排尿は、失神を起こすこともあるため、できるだけ便座に腰かけて行ってください。
- ▶ 乗り物を運転する場合は、その前に十分な休憩（30分以上）をとってください。
- ▶ 接種部位は清潔に保ってください。入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしてください。

裏面もご覧ください

接種後、すぐに現れる可能性がある症状

アナフィラキシー 薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。

血管迷走神経反射 ワクチン接種に対する緊張や強い痛みをきっかけに、立ち眩みがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。横になって休むことで自然に回復していきます。

接種後、数日以内に現れる症状

一般的に現れる症状として、注射した部分の痛み、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉や関節の痛み、悪寒、下痢など様々な症状が現れることがあります。これらの症状の多くは、接種翌日をピークに発現することが多いですが、数日以内に回復していきます。

頻度としてはごく稀ですが、心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診してください。

| 発現割合 | 一般的な症状 |
|--------|--------------------------------|
| 50%以上 | 注射部位疼痛、頭痛、疲労、筋肉痛 など |
| 10~50% | 腫脹、発赤・紅斑、下痢、関節痛、リンパ節症、発熱、悪寒 など |
| 1~10% | 嘔吐、痒痛 など |

※接種するワクチンの種類（メーカー）によって症状や発現割合は異なります。

副反応には個人差があります

ワクチンの接種後には、体内で新型コロナウイルスに対する免疫ができる過程で様々な症状（副反応）が現れることがあります。この症状には個人差があり、初回接種時より追加接種時に、前回より強い症状が出ないこともあります。症状がないから免疫がつかないというわけではありません。

他の予防接種との接種間隔

新型コロナワクチンの前後に他の予防接種を受ける（予定）場合、接種間隔に制限はありません。ただし、疾患がある方や不安がある方は、事前に医師と十分に相談してください。

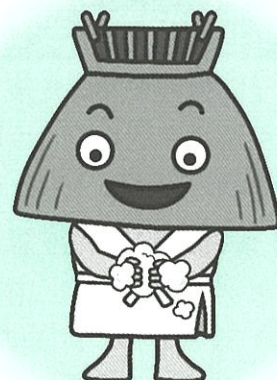
感染予防対策

マスクの着用、石けんでの手洗いや換気などは、基本的な感染対策として引き続き有効です。感染対策の実施については個人の判断に委ねられますが、基本的な感染対策への取り組みをお願いします。

厚生労働省 [新型コロナウイルスのページ](#)

キーワードで検索

新型コロナウイルス 厚労省



問い合わせ先

静岡市保健所感染症対策課 静岡市葵区城東町24-1

☎054-249-3152